

## 令和5年度 阪奈和4国立大学法人公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和5年9月8日（金） 15:00～17:00 大阪教育大学天王寺キャンパス西館 講義室C	
委員	岡本 匡央（ネクサス監査法人 公認会計士） 小谷 善行（大阪大学施設部長）※委員長 山田 陽彦（樹陽法律事務所 弁護士） （50音順）	
審議対象期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	
抽出案件（合計）	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議依頼はなかった。
工事（小計）	4件	
一般競争 （政府調達協定対象工事）	0件	
一般競争 （政府調達協定対象工事を除く）	4件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	2件	
議題および質疑	議題	別紙のとおり
	質疑	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

議 題	質 疑 等
<p><b>0. 開会・連絡事項・配付資料確認・委員紹介・各法人紹介等（事務局）</b></p> <p>議事に先立ち、事務局から、連絡事項、配付資料確認、委員紹介及び各法人紹介等が行われた。</p>	
<p><b>1. 昨年度審議事項の改善結果等について</b></p> <p>事務局から、資料1に基づき、令和4年9月開催の本委員会において委員から指摘された事項及び改善状況（2件）について報告が行われた。</p>	特になし
<p><b>2. 阪奈和4国立大学法人における契約方法等について（建設工事）</b></p> <p>事務局から、資料2-1に基づき、奈良先端科学技術大学院大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた建設工事の契約・落札方法、等級の設定、地域性考慮の有無について説明が行われた。</p> <p>続いて、事務局から、資料2-2に基づき、令和4年度に締結された4法人（5大学）における建設工事の入札方式別工事件数、予定価格合計、契約金額合計及び平均落札率について説明が行われた。</p> <p>続いて、事務局から、資料2-3に基づき、令和4年度に締結された4法人（5大学）における建設工事（予定価格250万円超）の内容及び委員会審議事項抽出案件について説明が行われた。</p> <p>続いて、事務局から、資料2-4に基づき、理由書に関する点検事項番号内容等の説明が行われた。</p>	<p>特になし</p> <p>特になし</p> <p>特になし</p> <p>特になし</p>
<p><b>3. 阪奈和4国立大学法人における契約方法等について（設計・コンサルティング）</b></p> <p>事務局から、資料3-1に基づき、奈良先端科学技術大学院大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた設計・コンサルティング業務の契約方法、地域性考慮の有無、手続き開始の公示方法について説明が行われた。</p> <p>事務局から、資料3-2に基づき、令和4年度に締結された4法人（5大学）における設計・コンサルティング業務の入札・契約方式別件数、予定価格</p>	<p>特になし</p> <p>特になし</p>

議 題	質 疑 等
<p>合計、契約金額合計及び平均落札率について説明が行われた。</p> <p>事務局から、資料3-3に基づき、令和3年度に締結された4法人(5大学)における設計・コンサルティング業務(予定価格100万円超)の内容及び委員会審議事項抽出案件について説明が行われた。</p> <p>事務局から、資料3-4に基づき、理由書に関する点検事項番号内容等の説明が行われた。</p>	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
<p><b>4. 審議対象工事及び業務の抽出結果について</b></p> <p>委員長から、抽審議対象工事及び業務の抽出結果について説明が行われた。</p>	<p>特になし</p>
<p><b>5. 対象工事及び業務の抽出案件の審議</b></p> <p><b>一般競争入札(総合評価落札方式(施工体制確認型))</b>  <b>【大阪教育大学(天王寺)合築施設(仮称)新営その他電気設備工事】</b></p> <p>大阪教育大学から、資料4-1に基づき、工事概要並びに施工体制確認型総合評価落札方式及びその実施状況について説明が行われた。</p>	<p>■施工体制確認型総合評価落札方式の評価項目について、定性的なものがあるが、どのようにして客観的に判断しているのか。  →チェック項目をリスト化して進めている。ただし、本制度がダンピング防止を目的として導入された背景から、チェックは厳しく行っている。</p> <p>■別紙2の「総合評価の方法について」は公開しているのか。  →本資料は公開していない。ただし、文部科学省のものに準じて作成していること、及び同省のものは公開されていることから、類推することは可能である。</p>
<p><b>一般競争入札(最低価格落札方式)</b>  <b>【大阪教育大学(天王寺)合築施設(仮称)新営工事監理業務(設備)】</b></p> <p>大阪教育大学から、資料4-5に基づき、業務概要及び「入札の応札者が1者のみ」となった理由について説明が行われた。</p>	<p>■不落随契の際、1回目の見積でここまで予定価格と近似値(99.47%)となることはあるのか。また、予定価格の類推は可能か。  →珍しいケースではあるが、ギリギリまで下げていただいた結果と認識している。また、予定価格の類推は難しいと思う。</p> <p>■工期と公告期間の設定はどちらが先か。  →工期を先に設定し、それに合うように手続期間を設定している。本件は、何度かの不調を経て5回目の公告となり、結果的に余裕がなくなった。</p>

議 題	質 疑 等
	<p>■理由書にある「早期の発注情報の提供」とはどのようなことを目的としているか。また、本件に関して、いつごろ公表すべきであったと考えるか。 →早めに公表することにより、技術者の確保を行いやすくすることが狙い。本件においては、少なくとも半年前には公表すべきであったと考える。</p>
<p><b>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</b> <b>【奈良教育大学（高畑）ライフライン再生（排水設備Ⅰ期）改修工事】</b></p> <p>奈良国立大学機構から、資料4-2に基づき、工事概要及び「1回目の入札で落札率が99.97%」となった理由について説明が行われた。</p>	<p>■競争参加者3者のうち1者のみが予定価格を下回ったこと、及び落札率が99.97%となったことについてどう考えるか。 →落札率については偶然の結果であると推測する。</p> <p>■落札者以外の2者の入札金額はともに予定価格より相当高額となっているようであるが、なぜだと考えているか。 →落札者以外の2者については、入札金額を下げられない背景が何かあったのではないかと考える。</p>
<p><b>一般競争入札（最低価格落札方式）</b> <b>【和歌山大学（栄谷）基幹設備（設備監視システム）工事】</b></p> <p>和歌山大学から、資料4-3に基づき、工事概要並びに「入札の応札者が1者のみ」及び「低入札業者の割合が100%」となった理由について説明が行われた。</p>	<p>■低入札価格調査においては、競争参加者が算出した（資材調達費・工事費及び諸経費から一定額を減額して入札金額とする前の）見積金額自体が予定価格より低いようであるが、この理由は確認しているか。 →その点については確認していない。</p> <p>■上記の事象が低入札価格となった主要因であると考えられるので、今後は、この点を分析し、予定価格の算出の是非を検討するべきではないか。 →その点については改善策として認識しており、今後進める予定としている。</p> <p>■1者応札となった背景には、技術者の確保が困難であるということが要因となっているケースが多いようであるが、どう考えるか。 →発注時期をずらす等、いろいろと工夫を試みているところであるが、解決にはさらなる情報収集が必要であると考ええる。</p>
<p><b>一般競争入札（最低価格落札方式）</b> <b>【奈良先端大生駒団地構内電気設備用蓄電池取替工事】</b></p> <p>奈良先端科学技術大学院大学から、資料4-4に</p>	<p>■落札者の決定において、45.5%という落札率はどうのような印象か。 →企業努力で可能であると考ええる。本件の場合、低入札価格調査により提出された資料を分析した結果、7割以上が材料費であったため、仕</p>

議 題	質 疑 等
<p>基づき、工事概要及び「落札率が45.50%」となった理由について説明が行われた。</p>	<p>入金額の縮減により対応可能であったと考えられる。</p> <p>■落札業者から提出された調査資料（メーカー見積書）を確認すると、機材の価格が半額程度となっており、落札業者と機材メーカーとの間で経常的な協力関係があると推察されるが、どのように考えるか。 →ご指摘のとおり、経常的な協力関係があると考えている。</p>
<p><b>一般競争入札（最低価格落札方式）</b> <b>【奈良先端大バイオサイエンス棟等トイレ改修設備設計業務】</b></p> <p>奈良先端科学技術大学院大学から、資料4-6に基づき、業務概要及び「入札の応札者が1者のみ」となった理由について説明が行われた。</p>	<p>■業者の繁忙期に関する情報収集とは、どのように行うのか。また、そのような情報が入手できるものなのか。 →業者にヒアリングして情報を収集することにより、当該業者にとって受注したい案件であれば、協力してもらえないのではないかと考える。</p> <p>■理由書の改善策に「入札公告から書類の提出期限までに余裕を持たせ」とあるが、現実的には可能か。 →提出期限は、可能な限り長くするよう努力したい。</p> <p>■本件は、公告時期を12月にするなど、もっと早くできなかったのか。 →学内の調整に時間を要したため、この時期となった。</p> <p>■年始は、業者にとっても補正予算による工事への対応等が立て込み、忙しい時期であると考えられるので、その時期を外して発注ができるよう、調整を行うべきではないか。 →ご意見を踏まえ、今後、調整を行っていきたい。</p>
<p><b>6. 指名停止等の状況及び再苦情処理の申立状況</b></p> <p>事務局から、資料5に基づき、令和4年度における指名停止案件及び再苦情申立がともに0件であった旨の報告が行われた。</p>	<p>特になし</p>
<p><b>7. その他</b></p> <p>特になし</p>	<p></p>